

公益財団法人日本バスケットボール協会
2017(平成29)年度 方針

◇方針

【改革の継続】

「JAPAN BASKETBALL STANDARD 2016」に基づき、
バスケットボールで日本を元気にするための改革を引続き強力に推進

◇2017年重点実施事項

- (1) JBA/PBAの組織基盤構築・強化と各種連盟の組織整備、連携強化
- (2) ワールドカップ・東京オリンピックに向けた代表チームの強化と、審判/指導者/マネジメント人材の育成・強化
- (3) バスケットボール競技の価値向上に向けたマーケティング戦略の設計・推進
(B. MARKETING 社と協働)

【主な活動】

1. 組織関連

- (1) JBA、PBA、各種連盟のガバナンス体制強化とサポート施策の実行
 - ①2018年度以降の各種連盟整備・改編に向けた諸施策の推進(社会人連盟/障がい者連盟の設立、各連盟/協力団体との覚書の締結等)
 - ②PBA連絡会/PBA担当者研修会の充実
- (2) 2018年度～新登録制度体系への着実な移行に向けた諸準備の展開
 - ①2018年3月稼働を目標とした新システムの構築
 - ②D-fund制度(PBAでの普及活動サポート制度)導入に向けた諸準備
- (3) JBA事務局機能の充実(組織運営面、財務面、人材面)
 - ①事務局組織(役割分担含む)の見直し、働き方改革等による生産性の向上
 - ②月次決算実施も含めた予算管理の精度向上
 - ③新規人材の登用と人材育成に資するローテーションの実施

2. 強化関連

- (1) A代表
 - ①男女とも新ヘッドコーチを招聘すると共に専任スタッフを増強
 - ②・男子：東アジア選手権大会、FIBAアジアカップ、2019FIBAワールドカップ1次予選(HOME&AWAY)
・女子：2017年FIBAアジアカップ
での勝利に向けた合宿・海外遠征/国際強化試合の実施
- (2) アンダーカテゴリー代表
 - ①男女ともU19ワールドカップ、U16アジア選手権での勝利に向けた代表の強化
- (3) 3×3
 - ①2020年東京オリンピック種目追加も見据えた代表の強化
・強化方針立案と足元の国際大会参加によるポイント獲得
・FIBAファストトラックへの参加
- (4) 全般
 - ①海外協会とのパートナーシップ提携も視野にした強化システムの構築
 - ②海外でプレーする選手への支援体制構築

3. 普及育成関連

- (1) 長期的視野に基づいた年代別育成方針/システムの確立
 - ① リーグ戦文化の醸成と、その定着に向けた課題解決
 - ② トレセン制度（仮称）の検討
- (2) 競技者人口拡大に向けた各カテゴリーの競技環境の整備

4. 指導者/審判関連

- (1) 指導者/審判の新ライセンス制度導入に伴う、育成・養成プログラムの展開
 - ① 審判インストラクター制度の構築
 - ② 指導者講習プログラムの充実
 - ③ e-Learning の有効活用
- (2) 海外協会とのパートナーシップ提携も踏まえた人材交流の実施

5. 事業関連

- (1) 日本代表戦/各種大会の再設計及び価値向上策の推進
 - ① ウインターカップ選手権化/オールジャパン改編に向けた諸準備の展開
 - ② ジュニアオールスター/全国ミニのあり方検討
 - ③ 国際大会やアリーナ改修スケジュールと集客を踏まえたベニューの確実な確保
- (2) 日本代表のブランディング強化と JBA を含めたバスケットボール界の VI 戦略の策定
 - ① プロモーション/チケッティング/演出面の抜本的強化と効率的な展開
 - ② JBA スローガン「バスケットボールで日本を元気にします！」の浸透
- (3) B. MARKETING 社と一体となった統合マーケティングの推進

6. 広報関連

- (1) メディア露出/SNS フォロワー層の拡大に向けた、KPI の明確化とプロアクティブな広報施策の展開
- (2) バスケットボールコンテンツ価値向上に向けた中期的広報戦略の策定

以上